



Chartered on 7th July 1984

The Service Club of the YMCA

The Y's Men's Club of WAKAYAMA-KINOKAWA

和歌山紀の川クラブ 2021年 5月 No. 445

Club Office: Wakayama YMCA 1-12-13 Oota Wakayama
http://space.geo.cities.jp/kinokawaclub/

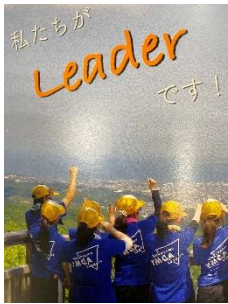
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ会長 生駒義範：主題「見つめ直そう！今、わたしがあなたにできること、私たちがあなたにできることを」 // 国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク)：主題「命の川を信じよう」 スローガン「価値観、リーダーシップ、エクステンション」 // アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール)：主題「変化をもたらそう」 スローガン「奮い立たせよう」 // 西日本区理事 古田裕和：主題「Let's do it now！」 スローガン「2022年に向け誇りを持って All is well」 // 阪和部長 中井信一：主題「寄り添う。忘れない。」

会長：生駒 義範
会計：田中 正紀
書記：東 雅子

完成しました！ フォトブック

和歌山 YMCA 総主事 加志 勉



「YMCAリーダーっていいな 今しかできない、がここにある」これが、リーダーフォトブックの表紙に書かれている文章です。3月21日のフォトブック完成お披露目会の様子は、和歌山紀の川ワイズメンズクラブ4月ブリテンに詳しく掲載されていますので、そちらをご覧ください。

このフォトブックの完成までの過程で特筆すべきことは、ユースリーダー（現役とOB OG）が中心となって作成されたことです。勿論、いつもユースリーダーに寄り添い支援いただいている紀の川ワイズメンズクラブの方々の提案でスタートした編集委員会ですが、回を重ねるごとにOB OGの意見を尊重し、若者の発想で斬新的なフォトブックとなりました。子どもたちの笑顔、リーダーの真剣な眼差し、リーダーの熱い想いが伝わってきます。

コロナ禍の中で、ユースリーダーの募集がなかなかできない状況で、このフォトブックを大学生や高校生の目に触れる機会を作り、リーダー勧誘のアイテムとして大いに役立てたいと思います。

作成にあたって、多大な援助を頂きましたワイズメンズクラブ西日本区・阪和部、和歌山Y's、和歌山紀の川Y'sの皆様方に心より感謝申し上げます。

「ポジティブネット募金について」

和歌山 YMCA 藤田 りか

コロナの影響を受ける青少年等支援緊急募金として、2020年7月から2021年3月までの9か月間、全国のYMCAが各々の募金使途・目標額を決め、総力をあげて取り組みを行ってきました。和歌山YMCAでも300万円を目標とし以下の目的で募金活動を行い、多額の募金が集められました。これはひとえに、全国YMCAの願いである「はなれていてもつながっている」が、この活動に賛同し募金して下さった皆様方のお陰で形として表現することができたのです。皆様方の温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

【募金額】 2,243,423円

【募金使途】 誰もが、公平に夢をかなえるチャンスのある公正な地域社会の創造を願い、以下に使わせて頂きます。

- ①子どもの学びや体験の機会を、公平に提供します。スキーキャンプや英語プログラムに、経済的に困難な状況にある子どもたちを招待します。
- ②ユース世代の留学生の学びと生活、将来設計を支援します。経済的に困難な留学生の生活支援を行います。
- ③地域のシニア世代の健康づくりを進めます。地域の高齢者の方々に健康づくりと憩いの場を提供します。

聖句
こころを騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。
ヨハネによる福音書 14章1節
加志 勉 撰

DBC 交流会 (オンライン)

日時：5月8日(土)
16~17:30
熱海グローリークラブ
名古屋クラブ
和歌山紀の川クラブ

5月例会プログラム
LT

日時：5月8日(土)
18~18:30
場所：YMCA 6F
司会：真弓
受付：永井・橋野

プログラム
開会点鐘 生駒会長
ワイズソング 一同
会長報告 生駒会長
諸報告・アピール等 関係者
YMCA報告 藤田担当主事
ハッピーアワー
小久保メネット会長
YMCAの歌 一同
閉会点鐘 生駒会長

	在席	出席	メネット	ゲスト	ビジター	メイト
4月	17	15	6	0	0	0
	名	名	名	名	名	名
	議録係					

出席率		BF	ニコニコ献金
93.8%	4月	8,000円	4,911円
	累計	27,850円	68,031円

4月 例会報告

日時：2021年4月3日(土) 18:30~20:30

場所：和歌山YMCA会館 6階ホール

出席：メン15名：生駒、大谷、小川、加志、金城、坂本、田中、土肥、永井、西岡、橋野、真弓、向井、山口、山端
メネット6名：大谷、小久保、永井、西岡、松本、山本 計21名

1. 会長報告等

- 1) はっさく事業の報告 150箱販売
収益43,079円(ファンド会計へ)
- 2) レガシー基金(一人当たり1,000円)を含む各種献金を期日までに振込済
- 3) 次年度への引継ぎを早い目に行ってください。
- 4) ロースターの申込締め切りは4月15日
- 5) YMCAクリーンキャンペーンを4月22日実施予定。ワイズで揃えたベスト着用のこと。
- 6) 東日本大震災10年誌へクラブ員一同で寄稿済

2. YMCA 報告

- 1) 新年度が始まり、介護福祉士科の入学式を4/2に実施。日本語科は、学生がまだ入国できないためオンラインで行う予定。
- 2) 4/22のクリーンキャンペーンにご協力を。
- 3) 第2弾のYMCAマスクを販売中。袋が付いて500円。
- 4) ポジティブネット募金が約222万円集まった。

3. メンバースピーチ

1) 西岡弘メン

2冊の本をもとに、老後を健康に生きるための心がけと習慣を紹介してくれました。要約すれば、目標を持つことで自ずと積極的に生活できる。まずは自分自身が動くよう心掛けるとともに、感謝の心を忘れないようにすることが大切。ひょっとして、ワイズ活動に参加することで、これら多くの要件を満たすことに繋がるのかもしれない。



2) 永井康雅メン

歯科医であるメンが、日頃の治療経験をもとに歯と歯ぐきの予防についてお話ししてくれました。

歯垢を残さず落とすなど予防を心がけることで、歯と歯ぐきが弱るスピードを抑えることができる。歯ブラシの使い方は、歯ぐきに当たっても痛くない程度にする。また、ストロークを大きくせず、磨いていることを意識する。そして、80歳で20本の歯を残せるよう心掛ければよいのではとのこと。



4. DBC3 クラブオンライン交流会について

日時：5月8日(土) 16:00~17:30

当クラブがホストし、Zoom操作は名古屋クラブが受け持ってください。Zoomで初めての取り組みとなる熱海グローリークラブも、準備を進めてくださっている。Zoomの特性を考え、大人数での双方向のやり取りはなるべく控えるようにする。3クラブそれぞれの持ち時間を決めてそのクラブに進行を任せるよう心掛ける。

5. メネット会から、メネット募金(2年分2万円)をポジティブネット募金に献金
6. ニコニコ献金4,911円、BF献金8,000円
7. 例会充足率 131.3%

4月 言々皆報告

日時：2021年4月9日(金) 18:30~20:00

場所：和歌山YMCA 1F会議室

出席：メン11名：生駒、大谷、小川、金城、坂本、田中、土肥、永井、西岡、真弓、向井

1. 5月例会プログラム案について

DBC3クラブオンライン交流会を5月8日(土)に開催、当クラブは和歌山YMCA 6階ホール(サテライト会場)から参加する。5月例会を交流会終了後、18:00から30分に時間を短縮して行う。食事はなし。

2. DBC3 クラブオンライン交流会について

開催日時 5月8日(土) 16:00~17:30

当日15:00に和歌山YMCAに集合して準備する。4月8日19時から、名古屋・紀の川の担当でZoom第1回打合せを行い、暫定プログラムをまとめた。それを基に当クラブで内容を検討。次回のZoom打合せを4/14の19時から開催で打診する。また、DBC交流を今後も継続していくためにも、ホストクラブが特別に費用を負担しなくてもよいようにしていくことを再認識しておくべき旨を確認。

3. 次年度への引継ぎを5月末までに実施すること。

4. 次年度ロースターを注文

西日本区版6冊、東日本区版1冊(クラブ用)

5. YMCA 報告

- 1) 3月末で幾人かの職員が退職された。
- 2) 紀の川クラブ担当主事は、小川さんから藤田さんに代わる。藤田さんは阪和部担当主事も兼ねる。

6. その他

- 1) 西日本区大会の申し込みについて、会長が手続き方法、状況を確認の上、改めてメールで連絡してくれる。
- 2) YMCAクリーンキャンペーンを、4月22日16:30から実施する。〈コロナで延期〉
- 3) 区からのYMCA支援実態調査アンケートについて、まずはYMCAで調べてもらい、会長が取りまとめて報告する。

4) 阪和部会実行委員会を

4月22日(木)18:30よりYMCAで開催する。**〈4/27にオンラインで開催〉**

大阪サウスウイズメンズクラブ 65周年記念例会に参加して

生駒 義範

大阪サウスクラブは1956年4月7日にチャーターされました。チャーター日の前日2021年4月6日は大阪サウスの第一例会日でもあり、65周年記念祝会が執り行われました。コロナ禍の中、各クラブからの参加者は2名という制限の中、金城メンと私の2名が参加しました。小川大阪YMCA総主事、古田西日本区理事、中井阪和部長、子クラブの大阪河内クラブを含め総勢40名以上の参加で行われました。式典は3部構成で、第一部では例会として木下会長の開会点鐘から始まり、記念式典のお祈り、物故会員への黙とうを捧げ、永年会員(40年以上)の紹介と厳かに進み、第二部では各来賓の挨拶、参加者の紹介等、短い時間でありましたが、よく纏められた記念例会と感じました。おめでとうございます。



お預けの状態。でもこの遊歩道は変わらず私を待っていてくれるはずです。



リーダーからの発信

‘ぽんりーだー’ こと
志茂 友美



こんにちは！リーダー3年目、ぽんりーだーです。やっと新型コロナウイルスの第3波も落ち着いたかと思えば早くも第4波の兆しもあり油断は禁物ですね。みなさんお

変わりありませんか。

私はというと新年度を迎え、大学のある東京に戻っています。

昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり、半年間和歌山で活動に参加することができ、たくさんのリーダーと一緒にリーダー活動ができました。普段は長期休暇で和歌山に帰って来れた時にリーダー活動に参加しています。なので、毎月の例会やバスケクラス、秋に行われた自然体験キャンプ、冬・春のスキーキャンプなど普段経験することができない分、できる限り多くのプログラムに参加するようにしました。短い期間ではありましたが、かなり密度の濃い半年間でした。メンバーのことを考え何度も悩み考えさせられることが多く、改めてリーダーをすることの難しさや大変さ、そして楽しさ、面白さを身にしみて感じました。リーダーやスタッフと実際に顔を合わせて活動できる喜び、メンバーと会える喜びを痛感し、和歌山を離れがなくなったことを事実です。

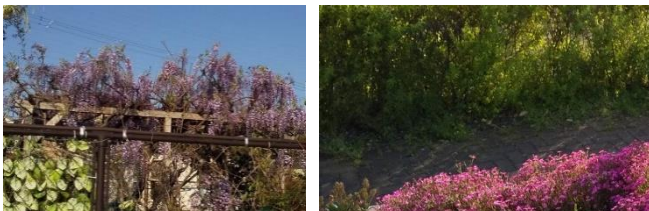
昨年度末で、これまでたくさんかわいがってくださった先輩方やスタッフさんが卒業、または退職されるといった「お別れ」があり、寂しいものがありますが、たくさんの新リーダーが仲間に加わり、今まで以上にぎやかになったリーダー会のこれからにとってもワクワクとしています。

大変な日々ではありますが、ご自愛ください。

MY FAVORITE お気に入り

朝の散歩道

東 雅子



愛犬をつれての朝、散歩をしていたころはあまり気づかずに通っていた川沿いの遊歩道。それは春木川という2級河川に沿って両側に作られ、3キロほど先にある中央公園まで続いています。川には大きな鯉が悠々と泳ぎ、亀は小亀や親亀がそこそこにかたまって甲羅干しをしていたり、もう少し暖かくなると鴨の親子が列をつくって泳いでいたり、そして遊歩道沿いには4季折々の花が…。

犬がいなくなり健康を目的にと毎日歩くようになり朝のひとときを楽しんでいましたが、この春はとんだ事故で楽しみにしていた桜の満開は見られませんでした。朝の散歩も思うようにならず、もうしばらく

5月YMCA行事予定

【介護福祉士科】

- ・実務者研修開始（古座川） 8日
- ・ガイダンス熊野高校 25日

【日本語科】

- ・台湾オンライン説明会 7日
- ・交流会 20日

【高等学院】

- ・三者面談 17日～
- ・春の遠足 21日

【ウェルネス】【ランゲージ】【シードクラブ】

- ・特記なし

【全体】

- ・25日 NPO 法人理事会
- ・27日 学校法人理事会
- ・28日 常議委員会

【コメント】

外遊びにはもってこいの季節となりました。ウェルネスも野外活動を推進し、今年度もコロナ禍の中で実施していますが、最終地点の“野外”の場は問題なくとも、そこまでの移動等に“密”が発生する事。また“集合”するという状況に加え“言葉”に過敏に反応する方も増え始め対策も際限がない状況となってきました。とはいえ、身体が資本である子どもたちの活動を制限することは避けたくも思います。夏のキャンプ前に悩みは増えつつける一方です。尚、このGW前に近畿圏に発出された緊急事態宣言と、和歌山県下の感染者数の状況を受け今年度の総会も書面でのスタイルをとる必要があります。ご協力のほどよろしくご願ひいたします。
小川 隆平

5月ワイズカレンダー

- 8日（土）DBC 交流会（ZOOM）16～17:30
- 8日（土）例会 18～18:30
- 14日（金）言言皆
- 20日（木）和歌山クラブ例会

編集後記

第4波といわれるコロナ変異ウィルス感染が、関西圏を中心に急激に拡大しており心配です。ワクチン接種についても、現時点では供給量が少なく追い付かない状況。これまで辛抱してきただけに、私たち一人ひとりが今が正念場と、継続して感染予防を心がけながら元気に過しましょう。和歌山城公園では、さくら、ボタンが咲き終わり、藤、ツツジが彩りを添えてくれるようになりました。
（土肥 記）



☆ メネット会から、毎月皆さまにご協力いただいている募金をポジティブネット募金に献金いたしました。金額は20,000円です。引き続きご協力をお願いいたします。



☆ 今月は次期阪和部メネット主査を務めて下さる西岡メネットにZOOM体験について書いていただきました。今のところコロナ禍で手に入れた、たったひとつの面白い体験かもしれません。

ZOOM 体験記

西岡 妙子

主査懇談会などで数回、ZOOMを体験しました。実際に会って話す方が良いのに決まっていますが、時間と交通費の節約は◎です。

遅刻しては大変なのでアラームをセットして、カメラ写りを意識した服装を考え、メイクも直し、歯磨きもして臨みます。まるでデートの前みたいにソワソワします。

定刻10分前にIDとパスコードを入れて入室。皆さんも次々に画面に入ってくれます。どなたなのかが分からなくても画面の隅に役職と氏名が出ているので安心です。後は司会者の指示通りにしていれば会議は進行します。

画面にプライバシーが写るのを避けたい方は、砂漠や高原を背景にされていますが、今のところ背景と人物の境目がモザイクをかけたようになる例が多く、ワタシ的にはもう一つだと思えます。私は壁に世界地図を貼っていて、それがいい具合なので気に入っています。